

切り拓こう 自分の手で 自分の人生は



「夢をもちたい」という願い



(高校生の投書より)

中学生のころは、あれもやりたい、これもしてみたいと、自分自身のたくさんの未来像がありました。ところが高校生になつてみると、どれも実現が難しいものだという気持ちがしだいに強くなつてきました。いま、私は夢がありません。この先どのような目標を立て、どのように生きていけばよいのか…。進路の問題も、はつきりした夢や目標がない状態では、なかなか結論を出すことができず、自分の将来に、あせつてしまふばかりです。

夢は心の酸素だと思います。夢のない毎日はつまらなくて、とても長く、そして息苦しい。酸素なしで生きていくけないと同様に、人間は夢なしではきっと生きていけないのでしょう。夢をもつてがんばる友達の目が輝いているようで、とてもまぶしく感じます。

人 生なんて考えつめるほど深刻じゃない…
…かといって考えただけでわかるほど甘くもない。
梅田晴夫『未知なるもの』

生 きるということは、心の中の未知のものを追求して、自分が自分自身になることだ。
福永武彦『風土』

人生とは…

人 生とは、切符を買って軌道の上を走る車に乗る人にはわからない。
モーム

生 まれるのはだれでも生まれる。死ぬのはだれでも死ぬが、生きるということだけは、これは千人が千人、万人が万人みなちがつた生き方をする。
野上弥生子『生きるということ』



あなたは、この投書を読んでどう感じ、考えましたか。
あなた自身のことと照らし合わせて返事を書いてみましょう。

自分の夢をもつには
どのようにしたら
よいのだろう。

私からのメッセージ

夢や理想をもち それに向かって一歩一歩進んでいく姿は たのもしいもの

でも、現実にはなかなか思いどおりにいかないものです。
理想の実現に向け、自分の人生を切り拓くために何が必要なのでしょうか。

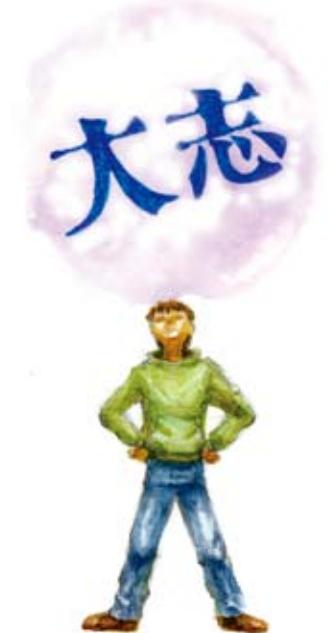


志を立てるのに遅すぎるということは決してない

(ポールドウィン:イギリスの政治家)

江戸時代に、日本の地図を作成した伊能忠敬が、学問への志を抱いて江戸へ出たのは寛政七年（一七九五年）、実に五十歳のときでした。そののち全国を測量してまわり、後世の貴重な資料となる多くの地図を完成させたのです。彼は、当時なら隠居してしまう年齢で「志」を立て、人生を二度生きたような人物でした。

何歳であつたとしても夢や理想を掲げることをためらってはいけない。何事も無理だとあきらめてはいけないのです。



あなたの夢や理想を実現するために いま、どうすることが大切なんだろう



あなたの思いをまとめてみましょう。

●周囲の人からのアドバイス

	_____から
	_____から